

富山経済同友会

会報

2020.11月
No. 298



9月会員定例会（9月24日）

CONTENTS

- | | |
|----------------------------------|---|
| ● 9月会員定例会 2 | ● 第5回地域創生委員会（フィールドワーク）... 9 |
| ● 【講演録】9月会員定例会 3 | ● 課外授業講師派遣 12 |
| ● 委員長会議 5 | ● 教育講演会等講師派遣 13 |
| ● 第4回企画総務委員会（拡大委員会）..... 5 | ● リレーエッセイ ⁹⁹ （小柴 順子 氏）..... 14 |
| ● 第1回同友会経営道場 6 | ● 活動報告 15 |
| ● 文化スポーツ委員会（第11回、第12回、第13回）... 6 | ● 会員の入退会 17 |
| ● 第79回あけぼの会ゴルフコンペ 8 | ● 慶事のお知らせ 19 |
| ● 同友会の日 カターレ富山戦..... 8 | ● 今後の予定 19 |
| ● 第5回企画総務委員会 9 | ● わが青春の1枚（板谷 聡 氏）..... 20 |

働き方改革でイノベーションを起こす！

小室淑恵氏講演 — 9月会員定例会 —

9月会員定例会が9月24日(木)、ホテルニューオータニ高岡で開催され、株式会社ワーク・ライフバランス 代表取締役社長の小室淑恵氏が「経営戦略としての働き方改革～生産性で差をつけ、コロナ時代を勝ち抜くには～」と題して講演を行った。講演会は、働き方改革委員会（遊道義則委員長）が主管し、東京と会場をオンラインで結びリモート登壇の形で行われ、会員等約100名が出席した。

小室氏ははじめに、「人口ボーナス期」「人口オーナス期」について説明し、オーナス期の今、現在の労働力と未来の労働力を同時に確保することが必要であること、ボーナス期の政策や企業戦略は逆効果となり、オーナス期に合わせた転換をできた国や企業だけが勝ち残れると説明した。

また、女性活躍や少子化対策には「男性の働き方改革」が必要であるとし、時間外前提の職場では多様性は生まれず、多様性がなければイノベーションは生まれない。働き方改革はイノベーションを起こし勝ちにいくために行うものであると強調した。

そして、仕事の属人化を解消し、マネジメント方法を変えることで、テレワークでも生産性を高めることはできる。経営者が率先して実践することが大切であるとした。

最後に、働き方改革は一律に行うものではなく、100社あれば100通りの実現方法がある。自分たちの働き方にあった方法を取り入れ、推進していくことが経営者の役割ではないか、としたうえで、「勝てる組織と充実した人生をつくってほしい」と講演を締めくくった。

9月会員定例会(R2.9.24)講演録

「経営戦略としての働き方改革 ～生産性で差をつけ、コロナ時代を勝ち抜くには～」

講師：株式会社ワーク・ライフバランス 代表取締役社長 小室 淑恵 氏



(講師プロフィール)

1,000社以上の企業へのコンサルティング実績を持ち、残業を減らして業績を上げる「働き方見直しコンサルティング」の手法に定評がある。安倍内閣産業競争力会議民間議員、経済産業省産業構造審議会、文部科学省中央教育審議会などの委員を歴任。

「朝メール.com」「介護と仕事の両立ナビ」「WLB組織診断」「育児と仕事の調和プログラム アルモ」等のWEBサービスを開発し、1,000社以上に導入。「WLB コンサルタント養成講座」を主宰し、1,600名の卒業生が全国で活躍中。私生活では二児の母。

◆ 人口オーナス期手法への転換を

「人口ボーナス期」「人口オーナス期」は、ハーバード大学のデービッド・ブルーム教授が1990年代に提唱した考え方です。人口ボーナス期とは、その国の人口構造そのものがボーナスをくれるような経済発展しやすい時期です。生

産年齢人口が多く、安い労働力を武器に世界中の仕事を受注できる一方で、高齢者比率が低いいため社会保障費がかさまず、インフラ投資に回せるので、「アジアの奇跡」のような爆発的な経済発展を起こすことができます。日本では1960年代半ばから90年代で、ちょうど高度経済

KOUENROKU

成長期と重なります。

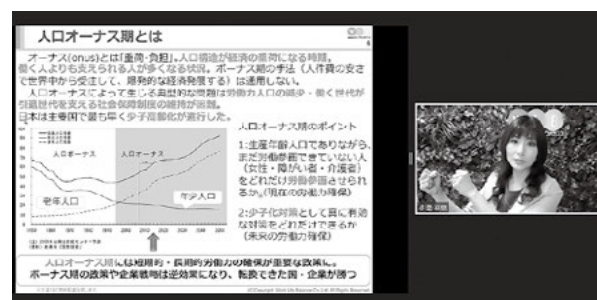
人口オーナス期は、人口構造が経済の重荷（オーナス）となり、支えられる側が支える側よりも多くなる時期です。労働力人口が減少し、社会保障制度を維持することが困難になります。もはやボーナス期の手法は通用しません。加えて、日本は少子化対策に失敗したことで高齢者比率が跳ね上がりました。あと20年は続いたであろうボーナス期は早々に終わり、90年代半ばにはオーナス期に突入しました。ボーナス期は一度終わると二度と訪れません。

オーナス期における経済再浮上のポイントは2つ。1つ目は、立派な労働力なのに本格的に労働参画できていない女性はもちろん、障害者、介護者など生産年齢人口の人をどれだけ労働参画させられるかが重要です。ただ、女性活躍ということで夫婦共働きを推進すると、共に忙しくて子どもを持つことが困難になります。そこで2つ目に重要となるのが、未来の労働力を増やすために、夫婦ともに働きながら子どもを2人以上持てるような社会環境や働き方にしていくという、真に有効な少子化対策です。

厚生労働省の調査で、「第1子が生まれたとき、夫の家事・育児の参画時間が短い家庭ほど、第2子以降が生まれていない」というデータがあります。第1子での孤独な育児が妻のトラウマになっているのです。産後の女性の死因の一位は自殺なのです。特に産後2週間から1か月は産後鬱のピークなので、この時期にすみやかに男性が育休を取れると、妻の命を救うことになります。

少子化対策に本気で取り組むには、「男性の働き方の見直し」つまり社会全体の商習慣を変えていくことが重要です。ボーナス期の成功体験から決別し、オーナス期のやり方に転換できた国や企業が勝つのです。

ボーナス期は、男性が長時間働き、同じ条件の人をそろえることで経済発展してきましたが、オーナス期では、男女をフル活用して、労働時間を短くし、違う条件の人をそろえることが必



要です。

労働者のパイが小さくなり、頭脳労働の比率が高いので、男性にこだわる理由はありません。売手市場ですから、男女から選ばれる組織になる必要もあります。仕事が複雑化しますので、ミスなくこなす集中力が要求されます。集中力を担保するのは睡眠ですから、インターバル規制の検討も必要です。また今後、団塊世代が一斉に70代後半に入ってきますので、介護離職者の激増が懸念されます。時間外前提の働き方では、職場の崩壊を招くのです。

一方、市場は均一なものに飽きており、イノベーションな商品・サービスが求められています。それらを生み出すためには、多様な人材がフラットに議論できる場が必要ですが、時間外対応を辞さない人だけが登用される構造では、管理職や役員は男性ばかりとなり、考え方の多様性はなくなってしまいますので、働き方で門前払いをしないことが重要です。

「なぜ働き方改革をやるのか」と聞かれたら、「勝ちにいくため」と答えてください。勝つためにはイノベーションが必要、イノベーションを起こすには多様性が必要、多様性を生むには働き方改革をしなければ、ということです。組織の中で働き方改革を進めるためには、この一貫通貫した考えをトップだけでなく中間管理職もぶれずに持つことが大事です。

◆ テレワーク下でも生産性を高めるには

今までは、誰かの労働時間が欠けると、その分を他の誰かの残業に上乗せしていました。しかし、今の組織では育児や介護時短など時間的制約のある方々が仕事をしています。そこで必

要になるのが「仕事の属人化の解消」です。その人しか分からない仕事があると、その人がいなければ仕事が進みません。多様な人材がチームで仕事できるように、仕事を見える化・共有化し、クラウドに情報をアップしていくことが大事です。

そうやって、テレワークでも完全に機能する組織を徹底的につくってください。どんな状況でも仕事ができる仕組みがあれば、今後様々な場面で事業を継続することができます。

コロナ禍でテレワークとなり、様々な不安や課題があったと思います。テレワークにおける生産性を左右するのは、①仕事を見える化・共有化し、遠隔パス回しがスムーズにできるか、②不安や孤独から解放され、安心して仕事に集中できるか、③時間を自律的に組み立てられるか、この3つが重要なポイントです。

「マネジメントの方法を変える」ことも大切です。ボーナス期では、指示命令型（ティーチング）で緊張感を高めるマネジメントがベストでしたが、オーナス期では、傾聴承認型（コーチング）で心理的安全性を高める手法が必要です。心理的安全性とは、有能な人材の多さやリーダーシップの強さではなく、他者と違う意見でも思い切って言え、安心して挑戦できることです。コロナ収束後も以前のような職場に戻るのではなく、これを機に新しいマネジメントに転換し、リラックスできてイノベティブな職場をつくっていただきたいです。

疲れる満員電車での出社や育児女性のお迎え



のための短時間勤務、捺印、資料の大量プリントなど、時間とコストの無駄遣いとなるボーナス期の商習慣で生産性を落とすことはありません。何十年も続いた商習慣を根底にある文化から変えるには、経営者自身が率先して実践することが大事です。テレワークも経営者が出社しては、社員はテレワークなどできません。ぜひリーダーから文化を変えていってほしいと思います。

◆ 働き方の見直し：4つのステップ

弊社が実際に行っているコンサルでは、8か月間で企業と一緒に働き方改革を行います。まず現在の働き方を確認し、業務の課題を抽出。それを「カエル会議」に持ち寄って見直しを行い、そこで決定した施策をチームで実施していく。この4つのステップを繰り返しながら、継続的に業務を見直していきます。カエル会議で、疑問を持っていた働き方を議論の俎上に載せ、出てきたアイデアをしっかりと扱っていくことで、みんなが抱えていた働き方に対する不満を解決していきます。

コロナ禍の中で、「現場があるからテレワークなんかできない」という企業もありました。しかし、解決策はテレワークだけではありません。現場には現場の働き方に対する不満があります。ぜひ現場に寄り添った働き方改革を実践し、現場も管理部門も双方の生産性を高めていっていただきたい。働き方改革は一律に行うものではなく、100社あれば100通りの実現方法があります。自分たちの働き方にあった方法を取り入れ、推進していくことが経営者の役割ではないでしょうか。

沈みつつある「人口ボーナス山」から、隆起していく「人口オーナス山」へ、これは地続きではないので、今のやり方を続けていってもたどり着けません。どこかで思い切って飛び移らないと行くことはできないのです。ぜひ今日、山を飛び移っていただき、勝てる組織と充実した人生をつくってほしいと思います。

今後の委員会活動について活発に議論

～ 令和2年度委員長会議 ～

9月8日(火)、令和2年度委員長会議が今年3月立山町にオープンしたヘルジアン・ウッドで開催され、常任幹事以上の役員と各委員会委員長ら19名が出席した。

各委員長から今年度の活動状況ならびに年度後半の事業計画について説明がなされ、各委員会がコロナ下であっても新しい生活様式を順守しながら活発に活動していることが伺えた。

事業年度2年目の委員会からは活動実績に加え、年度末に公表予定の提言書の骨子や報告書の構想が発表され、委員会活動の総括に向けた計画が示された。

事業年度1年目の企業経営委員会では、オンラインを併用した講演会の開催について説明があった。企画総務委員会では来年度にSDGsを考慮した委員会の再編を行う予定であり、その中間報告があった。また当会が来年4月に60

周年を迎えることから、記念式典、記念講演、記念誌発行など60周年記念事業の計画についても説明があった。

委員長会議後の懇親会では、麦野英順・塩井保彦両代表幹事の挨拶の他、会場となったヘルジアン・ウッドを運営している前田薬品工業(株)の前田大介社長から挨拶があり、委員長会議に使用していただいたことに感謝の言葉があった。



三方良しで未来良し！

— 第4回企画総務委員会(拡大)「SDGs講演会」 —

第4回企画総務委員会拡大委員会(桶屋泰三委員長)が9月29日(火)、富山電気ビルディングで開催され、etincelle 代表 西野美冬氏が「SDGsの実践が会社の未来を変える！～ポイントは3つのI～」と題して講演を行った。講演の様子はZOOMによるライブ配信も行われ、オンライン視聴とあわせて会員等約110名が参加した。

西野氏はまず、今、SDGsは世界の共通言語であり、ビジネスにおいても重要なコミュニケーションツールとなっていること、with/after コロナ時代に備え、これまでのビ



講師 西野美冬氏

ジネスを変革する必要があるが、その答えはイノベーションの種が多く埋まっているSDGsにあると強調した。

SDGsのキーワードは、①バックキャスト(Innovation)、②誰一人取り残さない(Inclusive)、③地球規模(Interconnected)の3つ。未来志

向での破壊的創造により、リスクをチャンスへと変換し、自社・他社の成功事例を活かして新たな展開へとつなげることが重要

であり、この3つのIを導入し、SDGs商品やSDGsを軸にした経営体制によって、市場拡大やグローバル展開している企業を紹介した。

そして、SDGsを実践するには、①SDGsを理解し、②自社と関連付け、③SDGsを指標に事業を考え、④仕組化し展開する、4つのステップが必要であり、SDGs経営に取り組むことで、市場から自社の最適な理解と認知を得ることができるとした。

最後に、日本はもともとサステナブルな経営をしてきた国であり、日本企業が大事にしてきた「売り手良し、買い手良し、世間良し」の“三方良し”の精神でSDGsに向き合い、“未来良し”としていただきたい」と講演を締めくくった。



「タイミング重視の経営」

— 第1回同友会経営道場 —

第1回同友会経営道場（伊勢徹委員長）は9月14日(月)、ホテルグランテラス富山において開催され、委員30名（Zoom視聴11名）が参加した。今回は、当会の副代表幹事である牧田和樹氏（株牧田組 取締役社長）が発表を行った。

牧田氏はまず、15年前に実施した自社の組織改革を例に挙げ、労働生産性が倍になったことを説明、ホワイトボードを用いて臨場感溢れる発表を展開した。組織



牧田社長

再編では、従来営業所として顧客の工場内に連絡係を置いていたが、技術者を追加配置して事業所へと格上げした。こうした再編を行ったのは顧客に特別な利便性を提供し、競争をしないためとし、提供した利便性こそが「〇〇を重視」したことだと述べた。参加者に「〇〇」に何が

入るか、質問を投げかけて各テーブルごとに意見交換を行った。

テーブルごとに大変活発な議論が行われ、続く代表者による発表



では、議論の内容について熱意溢れる発表があり、意見交換の充実ぶりが伺えた。

意見交換後、牧田氏から「タイミングを重視」との解答が示された。顧客のすぐ傍に、工場内や専門用語に至るまで熟知した技術者がいることで、迅速なレスポンスが可能になったと述べ、タイミングを重視するためには「顧客密着度」と「要求に対する対応力」の二つを高めることが重要だと説明した。参加した委員は牧田氏の説明に感銘を受けながら、それぞれに経営に対する自身の考えを深めていた。また、非常に多くの質疑がなされ、最後まで活気あふれる経営道場となった。

文化スポーツ委員会

富山ゆかりの絵師・作品を学ぶ

～ 第11回 ～

第11回文化スポーツ委員会（五十嵐博明委員長）が9月7日(月)、富山県民会館で開催され、委員24名が出席した。

今回は今年度の活動テーマである「富山ゆかりの芸術を学ぶ」のうち、幕末から明治期にかけて活躍した富山出身の絵師や作品を中心とした勉強会として、富山市郷土博物館・佐藤記念美術館館長の坂森幹浩氏を講師に招き「富山ゆかりの美術について」と題して講演いただいた。

講演の中で坂森氏は、現在の富山市出身で「狩野派の四天王」の一人である木村立嶽（1828～1890）、現在の上市町出身で幕末に京都で四条派絵師として活躍した吉田公均（1804～1876）、現在の立山町出



五十嵐委員長



坂森館長

身で1855年の京都御所造営時の参内殿障壁画家の一人であり西郷隆盛ら幕末の志士とも交流の深かった谷口諒山（1816～1899）、現在の南砺市城端地域で発達し漆工芸では珍しい白色の表現が特徴である城端塗等について、生い立ちや絵師となるきっかけ、作品の特徴などについて解説した。



講演後は、富山市佐藤記念美術館へ移動し企画展「富山ゆかりの美術」を、坂森氏に解説いただきながら鑑賞した。

参加者は幕末から明治期にかけて活躍した富山出身の絵師に想いを馳せるとともに、現在も受け継がれている城端塗の鮮やかな白漆に見入っていた。



ラフカディオ・ハーンの人生と作品・秘められた想い ～ 第12回 ～

第12回文化スポーツ委員会が9月16日(水)、インテックビル会議室で開催され委員26名が出席した。

今回はラフカディオ・ハーン勉強会として、高志の国文学館主任（学芸員）の綿引香織氏が講師に招き「ハーンの人生と作品」と題して講演いただいた。

講演の中で綿引氏は、怪我による失明や大叔母の破産など大きな喪失体験をした少年時代から、新聞記者や小説家としての活動を通じ日本への興味・関心を持ったアメリカでの下



綿引主任（学芸員）

積み時代、来日し高等中学校教師として教鞭をとった松江、熊本での生活、神戸での雑誌記者を経て東京帝国大学（東大）講師の傍ら、のちにアメリカにおける日本人の心性研究の基礎となった日本文化論を研究した東京での活動など

について解説した。

また、母への思慕や家族に対する愛情、原稿の推敲・校正に対する厳しい姿勢や水泳が得意だったことなどハーンの人物像を紹介した。



綿引氏は最後に、東大での最終講義において、読書の意義や寸暇を惜しんで勉強することの重要性を説いたことに触れ「ハーンの心のこもった教えである。作品を通じ、ハーンの日本人や日本文化に対する深い想いに触れて欲しい」と述べて講演を締めくくった。

※綿引氏は、DVDを用いてハーンの世界を鑑賞を組み入れながら講演されました。鑑賞した作品は以下のとおり。

- ・ 夏の日の夢：「東の国から」（1895年）に収録
- ・ 神々の国の首都：「知られぬ日本の面影」（1894年）に収録
- ・ むじな：「怪談」（1904年）に収録
- ・ 耳無芳一の話：「怪談」（1904年）に収録

富山ゆかりの芸術（陶芸・篁牛人）に触れる ～ 第13回 ～

第13回文化スポーツ委員会が10月10日(土)、富山市民俗民芸村で開催され委員11名が出席した。

富山市民俗民芸村村長 石井達也氏のご挨拶の後、同陶芸館学芸員の高木好美氏、同篁牛人記念美術館館長の木村昌弘氏が講師となり、富山ゆかりの陶芸や富山市出身の水墨画家である篁牛人について解説、勉強会を行った。

まず高木氏より、現在の立山町を中心に加賀藩前田家が尾張瀬戸より陶工を呼び寄せて始めたこととされ、現在も受け継がれている越中瀬戸焼、現在の射水市小杉周辺で4代にわたり焼かれ、銅青磁釉と飴釉の色合いと徳利などに見られるユニークな形状が特徴の小杉焼、江戸末期に富山藩の殖産政策の一環として藩の支援を受けて現在の富山市八尾町で発達し鮮やかな文様を持つ越中丸山焼について、その歴史と特徴について解説した。



高木学芸員

続いて木村氏は、現在の富山市石坂出身の水墨画家である篁牛人について、20代の頃より頭

角を現したこと、ピカソなどの影響を強く受け作品にも描画手法の類似が見られること、滲みを極力抑え、息の長い線描による水墨画で独自の世界を構築したこと等について解説した。



木村館長

引き続き講演後は陶芸館、篁牛人記念美術館において、お二方に解説いただきながら作品を鑑賞した。参加者からは「地元根付き受け継がれている陶芸や篁牛人の存在は知らなかった」や「篁牛人はもっと広く知らしめるべきと感じた」などの感想が寄せられた。



第79回あけぼの会ゴルフコンペ

— 優勝は堀田裕介氏 —

9月12日(土)、呉羽カントリークラブ立山コースにて、第79回あけぼの会ゴルフコンペが開催され、59名のあけぼの会会員が熱戦を繰り広げた。今回、新型コロナウイルス感染拡大対策として、表彰式・懇親会は開催せず、ラウンドのみを実施した。

優勝の栄冠はネット69.4、グロス86で堀田裕介氏(株北陸博報堂)が獲得し、優勝賞品として、県内で活躍するガラス作家の作品(大皿)と、特選コシヒカリ20kgが贈呈された。

また、麦野・塩井両代表幹事から代表幹事賞の提供があり、麦野代表幹事賞は、



長谷川達雄氏(中央薬品株)が、塩井代表幹事賞は森幹男氏(森商事株)が受賞し、それぞれ富山県ゆかりのガラス作家によるペアグラス、くすりに関連した記念品セットが贈られた。

今回懇親会は開催されなかったが、爽やかな秋晴れの中でのプレイは、自粛ムードにおけるひとときのリフレッシュとなり、各組では一層の親睦が深まったことが伺えた。

ラウンド終了後には秋開催恒例の参加賞「松茸」が手渡され、秋の味覚に彩られた食卓を想像しながら、皆清々しい余韻とともに呉羽カントリーを後にした。

順位	氏名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	堀田 裕介	44	42	86	16.6	69.4
準優勝	小川 哲哉	47	48	95	24.9	70.1
3位	渋谷 清澄	39	43	82	10.7	71.3
4位	鹿田 晃彦	51	51	102	29.6	72.4
5位	永井 秀宗	48	45	93	20.1	72.9

肌寒さを吹き飛ばす“熱い応援” ～「同友会の日」カターレ富山 ホームゲーム観戦～

10月18日(日)、文化スポーツ委員会(五十嵐博明委員長)は地元プロスポーツを応援する「同友会の日」を開催し、富山県総合運動公園陸上競技場においてカターレ富山対岩手グルージャ盛岡戦を観戦した。

当日はやや肌寒い中、麦野代表幹事、桶屋副代表幹事、中尾特別顧問(株カターレ富山名誉会長)をはじめ会員はもとより、会員所属企業の従業員とそ



子どもたちと一緒に応援

のご家族など約200名が参加する大応援団となった。

試合直前に、五十嵐委員長と子どもたち

場の大型ビジョンに映し出されるなど選手に大きなエールを送る中でキックオフした試合は、カターレ富山が岩手の2倍近いシュートを放つ猛攻で終始、有利な展開であった。しかしながら決定打に欠け、惜しくも0-1で敗れホームゲーム3連戦の初戦を飾ることはできなかった。



家族で観戦

当会大応援団より、選手の気迫あふれるプレーを後押しする熱い拍手が送られるなど、会場は熱気に包まれていた。

60周年事業の予算と来期の委員会構成について

～ 第5回企画総務委員会 ～

10月26日(月)、第5回企画総務委員会(桶屋泰三委員長)がインテックビル4階スカイギャラリーで開催され、委員ら13名が出席した。

今回は①60周年記念事業の予算案、②60周年記念式典の来賓・招待者について、③SDGs推進を考慮した委員会再編案についての3項目について意見交換を行った。

予算案については、①来年4月27日(火)開催予定の60周年記念式典・コンサート・パーティー費用、②来年7月以降開催予定の記念講演会、③記念誌発行、④ホームページリニューアルと過去の記念誌のデジタルアーカイブ化、各々の費用について金額と総額の妥当性について審議した。

来賓・招待者については、新型コロナの影響による会場の収容可能人数を考慮し50周年と比較して招待者を絞ることにした。

SDGs推進を考慮した委員会の再編案については、SDGsの各目標をそれぞれの委員会に割り当てて推進していくこととし、具体的な委員会構成については引き続き検討を行うこととしている。



地域の魅力再発見「大人の遠足」

～ 第5回地域創生委員会 ～

第5回地域創生委員会(山野昌道委員長)が10月2日(金)に開催され、委員25名に加えて会員9名の計34名が出席した。

今回は「大人の遠足」と称して、7班に分かれて県内各地を巡るフィールドワークを実施した。プランは「富山へ会議で県外から訪れた友人に勧める半日観光」をテーマに委員から公募し、27件の応募の中から選抜した。

富山国際会議場ロビーでの出発式の後、各班に分かれて「食べる」「観る」「触れる」などを通じ、地域の魅力を体験・堪能した。

各班共通のゴール地点である富山第一ホテル

での懇親会では、各班より実施報告があり、参加者からは「富山に住んでいながら今まで知らなかった地域の魅力を再発見できた」や「何度も訪れているのに新たな“気づき”があった」などの感想が多数寄せられ、充実したものとなった。



出発式



実施報告

<地域創生委員会フィールドワーク「大人の遠足」実行程>

1 岩瀬方面〈1組〉

富山国際会議場 徒歩 〈徒歩〉 昼食：池田屋安兵衛商店 路面電車・徒歩 〈路面電車・徒歩〉

富岩運河環水公園 富岩水上ライン 〈富岩水上ライン〉 岩瀬まち歩き 路面電車 〈路面電車〉 富山市ガラス美術館



参加者の感想

最高でした！！

船と路面電車が行き来する富山ならではの魅力は強み。通年型のオプションツアーにしたい

2 岩瀬方面〈2組〉

富山国際会議場〈徒歩〉 昼食：美乃鮨〈路面電車〉 岩瀬まち歩き〈富岩水上ライン〉

富岩運河環水公園〈徒歩〉 富山県美術館



参加者の感想

勉強しながらも楽しい大人の遠足でした。この素晴らしい企画は、経済同友会全体に広める価値がありますね。

3 呉羽方面

富山国際会議場〈自転車・徒歩〉 昼食：レストラン「シェ・ヨシ」〈徒歩・路線バス〉

富山市民俗民芸村、呉羽山展望台〈路線バス・自転車〉 富岩運河環水公園



参加者の感想

富山市内に住んでいてもなかなか体験することができないことを今回行うことができました。お天気にも最高に恵まれ、とっても楽しい大人の遠足でした。

4 八尾方面

富山国際会議場〈路線バス〉 昼食：糸庄〈路線バス〉 八尾町散策〈JR高山本線〉

富山県美術館



参加者の感想

県内いろいろなコースを巡る遠足そのものがまさに地域創生！この内容をうまくキュレーションし発信することで、とやまの魅力の再発見、賑わい創出の第一歩となると確信しております。

5 宇奈月方面

富山国際会議場〈徒歩・北陸新幹線〉 黒部宇奈月温泉駅〈地鉄電車〉：車内にて昼食
 宇奈月温泉駅〈トロッコ電車〉 黒薙駅：遊歩道散策〈徒歩〉 黒薙温泉〈トロッコ電車〉
 黒部川電気記念館〈地鉄電車・北陸新幹線〉



参加者の感想

日頃、あまり接点の少ない会員の方々との交流ができて良かったと思いました
 日本の秘湯に、インディージョーンズ体験をしながら向かう黒薙温泉！歩いて行くことに意義あり。

6 高岡方面

富山国際会議場〈徒歩〉 富山市郷土博物館〈路面電車・あいの風とやま鉄道〉
 高岡駅〈徒歩〉 昼食：Jacasse〈路面電車〉 高岡市美術館・高岡古城公園・
 高岡市立博物館・高岡大仏〈路面電車・あいの風とやま鉄道〉



参加者の感想

コロナ禍で、リアル必要性 (face to face) を問いかけた日々。今回のフィールドワークは「人はなぜ人との出会いに感動をおぼえるのか」を体験できた。

7 上市方面

富山国際会議場〈路面電車・地鉄電車〉 上市駅〈タクシー〉 大岩不動尊〈徒歩〉
 昼食：旅館だんごや〈徒歩〉 日石寺（滝行）・おおかみこどもの花の家〈タクシー〉
 上市駅〈地鉄電車〉



参加者の感想

楽しかった。会員の交流という観点でも素晴らしいイベント
 ガイドブックには載っていない個性的な富山の魅力体験が届けられるコースです。
 普通の富山体験済の上級者にお勧めです。

将来の夢、目標を考える

— 課外授業講師派遣 —

第2回 射水市立射北中学校

令和2年9月9日(水)、牧田和樹氏(株)牧田組取締役社長が射水市立射北中学校において、2学年118名を前に「よりよく生きる」をテーマに課外授業を行った。

牧田社長ははじめに、世の中には「正解がある問題」と「正解がない問題」の二つがあることを説明し、社会に出ると正解がない問題を解いていかなければいけないが、正解がない問題でも、現実と向き合い、目的を明確に持つことで解決することができる。人のため、相手の立場に立って考えることが大事であると説いた。

さらに、問題を解決すると嬉しいと感じるのはなぜか?と問いかけ、それはできなかったことができるようになることで、自分が成長していると感じたからであり、成長を実感できれば嬉しくなると説明した。

そして、「働く」とは「傍を楽にする」ために人

が動くことであり、人の役に立つということ。人の役に立てば嬉しいと感じる。つまり、働くことは自身の成長につながるとし、「何のために働くのか」といえば、「自分が成長するため」であり、成長を感じられるからこそ、人生は楽しく、豊かになると語った。

最後に、自分の立場でしか考えない人は、正解がない問題を解決することはできない。自分のためではなく人の役に立つという目的を持つことで、自分の成長を実感でき、人生を豊かにすることができる。それが「よりよく生きる」ということだ、と強調して授業を締めくくった。



「人の役に立つことで成長を実感できる」と牧田社長

第3回 富山県立魚津高等学校

令和2年9月26日(土)、山野昌道氏(株)チューリップテレビ取締役社長が富山県立魚津高等学校において、1学年160名を前に「自分の夢の見つけ方」をテーマに課外授業を行った。

山野社長ははじめに、「なぜ働かなければならないのか」について、「社会は皆で作るものであり、何らかの役割を分担しなければならぬ。社会を作っていく一員になることが働くということである」と説いた。

続けて、本当の自分や自分のやりたいことは簡単には分からないし、夢もどんどん変わっていい。それでも何かを見つけないかと思ったら、「考え続け、行動し続けるしかない。そうして、一日一日を一生懸命に生きることが大切である」と語った。

さらに、厳しさや苦勞のないところにやりがいはない。苦勞や努力こそがやりがいであり感

動そのもの。やりがいはい自分で作るものであり、そのためには夢や目標が必要であるとし、「何かを達成したいのであれば努力するしかない」と強調した。

最後に、人生を幸せにする3つのコツ「迷ったらやる」「人のせいにしない」「ポジティブシンキング」を紹介したうえで、選択に迷った時、どちらが正しかったかは一生分からない。その後の自分の生き方で選んだ方を正解にしていくことが大事であるとし、「未来は今日一日の積み重ねであり、充実した未来のために充実した今日を過ごしてほしい」と激励して授業を締めくくった。



「目の前のことに真剣に取り組もう」と山野社長

第4回 富山県立小杉高等学校

令和2年10月14日(水)、遊道義則氏(株)ユニオンランチ取締役社長が富山県立小杉高等学校において、1学年158名を前に「目標と目的〜一度の人生を幸せに生きるために〜」をテーマに課外授業を行った。

遊道社長ははじめに、「言葉」の不思議さと大切さに触れ、我々は自分の言葉を統御していると考えているが、実は言葉によって支配され統御されているとし、自分の意図や取り組み、目標を明確にし、言葉で伝えることが重要であると語った。

次に、人生とは常に何かを選択しながら、自己実現を図り幸福を追求し続けるものであり、その中で自分自身を成長させていくことが必要である。卑下、現状満足、傲然など、成長を妨げるものを取り払い、自分の可能性を信じて、挑戦することで幸せに近づけると説いた。

そして、「目標は達成するもの」「目的は追求

するもの」と違いを説明したうえで、全ての結果(Have)は、ある行動(Do)によってもたらされ、その行動はあり方(Be)の影響を強く受けるとし、目標を達成することも重要だが、常に「誰のために、何のために」という目的を意識することが大切であると強調した。

最後に、自分の人生、誰も何もしてくれない。自分が自分に何をしておげられるかを考えてほしいとし、「これからの人生は選択の連続であり、選択肢も増える。目標と目的を積み重ね、自分で自分の人生を決めてほしい」と述べ、授業を締めくくった。



「持てるだけの選択肢を持とう」と遊道社長

第5回 富山県立高岡南高等学校

令和2年10月20日(火)、小川万里絵氏(日本銀行富山事務所長)が富山県立高岡南高等学校において、1学年計41名を前に「金融経済における日本銀行の役割」をテーマに課外授業(2講演)を行った。

小川事務所長ははじめに、日本銀行の組織と役割を説明し、経済の持続的な発展のためには物価の安定が必要であり、物価が安定していない状態では、金融市場へ資金を供給・吸収するオペレーションなどの手段により金利の誘導等を行い、景気の悪化や過熱に対応していると、日本銀行の金融政策について理解を促した。

次に、新型コロナでは、個人消費の減少や雇用・所得環境の悪化、設備投資の減少などの国内要因のほか、海外要因として、インバウンドの減少や輸出の減少、サプライチェーンの寸断など、日本経済に様々な影響があったことを説明し、企業等の資金繰り支援や金融市場の安定

確保などの日本銀行の政策対応を紹介した。

さらに、経済・物価情勢の判断材料である実質GDPやIMF世界経済見通し、実質輸出入、個人消費、設備投資などの各種指標の動向を踏まえたうえで、わが国の経済・物価の現状と先行きの展望を確認した。

最後に生徒の質問に答え、「高校3年間はあっという間だが、人生を振り返ってみた時には大きなウェイトを占める意味のある期間。今しかできないこと、やりたいことに力いっぱい取り組んでほしい」とエールを送り授業を締めくくった。



「経済のグローバル化で英語力が求められる」と小川事務所長



「子どもたちの思いやりの心も醸成しよう」と牧田社長

「信頼と対話で人を動かす」 牧田副代表幹事・富山県中堅教諭等資質向上研修で講演

令和2年10月28日(水)、牧田和樹氏(株)牧田組取締役社長)が富山県中堅教諭等資質向上研修

において、教員20名を対象に「リーダーシップを解き明かす」と題して講演を行った。

牧田社長はまず、経営者としてのリーダーシップは戦略や方針を策定することではなく、社員が方針に従い行動することで結果を出すこと。つまり、リーダーシップとは「人を動かす」ことであるとしたうえで、我々は自分以外の他者と関わって生きており、人と人がつながって社会はできている。人と人の間には「間(ま)」があるから人間社会であり、この中で、人を動かすことがリーダーシップにつながっていくと説明した。

そして、人間社会の「間」を支配し、人間関係に影響を与えるものには、言葉や感情、信頼など様々なあるが、すべて「心」が関与している。関係を築いていくうえで一番大事なことは、自分だ

けでなく相手にも必ず心があるということ、いかに相手を思いやり相手の価値を認めることができるかであると強調し、「史記」の豫讓の言葉「士は己を知る者の為に死す」(自分の真価を認めてくれる人のためには、命さえ惜しまずに尽くす)を紹介した。

続けて、人間関係を確立するプロセスは「興味→好意→共感→信頼→尊敬」とあるが、信頼以上の関係ができていれば人は言うことを聞いてくれる。まずは、信頼を勝ち取ることが大事であるとし、人を動かすには、人間的信頼と能力的信頼を備えたうえで、情緒的対話と論理的対話により共感と納得を得ることが必要であると説いた。

最後に、「世の中には反対の問題がいろいろある。「正」と「反」の対立関係から、より高次の「合」を導く「アウフヘーベン」のように、自分と相手の価値観が違ったとしても、相手を深く思いやる心を持って、違う価値観を合わせていくことが大切である」と述べ講演を締めくくった。



ハッピー上市会

小 柴 順 子

(株)コージン 会長

(株)コージン（電気・機械・器具部品製造）は今年で47年目になりました。嬉しいことや困難なことも色々ありました。オイルショック・会社存続の危機・ITバブル崩壊・社長（主人）の急逝・リーマンショック・新型コロナウイルス感染症拡大による経済への影響です。このような状況でも今日があるのは社員や地域の方々の支えや励ましのおかげです。何か自分に出来ることで地域のお役に立ちたいと思っていました。

2013年に拓殖大学山本尚史教授の『エコノミックガーデニング』の勉強会があり、地域という土壌を活かし、地元企業を育てることにより地域経済を活性化させる政策について学びました。私達自身がどんな町にしたいのかを考え、行動することが大事だと強く感じました。各団体や個人がそれぞれ地域活動をしていますが、互いの情報交換や連携して取り組む場がありません。その活動をつなげばより効果が期待出来ると考えました。早速地元経営者を中心に町の活性化と自社経営を考える会が発足しました。町の明るい未来と、全町民が楽しく幸せに暮らせるようにとの思いで『ハッピー上市会』と名付けました。月1回18時半から20時迄会社の会議室で、町の現状と課題や将来像について話し合い、他団体・他地域の取り組み事例などの学習会を行ってきました。

町民が自分達のありたい姿に気付き一歩踏み出すきっかけにしたいと、2015年山本尚史教授に上市町へ来ていただき『地域活性化フォーラム』を協賛団体と共に開催しました。目標100名が270名参加、講演会後のグループディスカッションも活発な意見交換が出来、熱気溢れる会場となりました。企画協賛実行委員、参加者の皆様に感謝です。とても嬉しく、皆様の地域を思う気持ちに力強さを感じました。

これを機に町の産学官金民の輪が広がりました。2018年4月上市高校と町からキャリア教育



の一環として、1年生は地元企業・事業所を知ること、2年生には職業観を持ちインターンシップへの積極的参加を促すこと、3年生は能動的な進路選択に繋げることを目的に、『職場見学』と『インターンシップ』受入の依頼を受けました。職場の若手社員に話を聞いたり優れた技術を紹介したりすることでミスマッチや早期離職防止に役立ち、町内就業促進、地元への定住も期待できます。県内初の産学官が連携した『職場見学』が実現しました。参加した生徒から「やりがいや働く意義、進路について考え、インターンシップに繋がりたい」との声があり、次年度も継続事業となりました。様々な職種が知りたいと昨年体育館で22企業・事業所が集まり『職業を知る会』を実施、200名の予定が321名参加となり生徒の職業に対する意識変化が感じられました。インターンシップ希望者、ティーンボランティア登録者数共に前年の2倍以上となり、キャリア教育に役立つことが出来ました。

今年は新型コロナウイルス感染症で、『職場見学』が延期になりましたが、11月に実施することが決まりました。1年生から働く意識を高め、就職や進路を自分で考え行動できるキャリア形成の助けになれば幸いです。今後も教育をテーマに地域づくりを実践していきます。子供達の未来の笑顔のため、素敵な仲間と一緒に美味しいお酒を飲むため、元気で頑張ります。

（ 次号は当会特別顧問の中尾哲雄 様です。 ）

活動報告

9月1日～10月31日

○幹事会・定例会等

開催日時・場所	内 容	出席者
9月8日(火) 17:30～21:00 Healthian-wood	令和2年度委員長会議	19名
9月24日(木) 16:30～20:10 ホテルニューオータニ 高岡	9月幹事会・会員定例会（働き方改革委員会主管） ・講師：株式会社ワーク・ライフバランス 代表取締役社長 小室 淑恵 氏 ・演題：「経営戦略としての働き方改革 ～生産性で差をつけ、コロナ時代を勝ち抜くには～」	約100名

○委員会

開催日時・場所	委員会名	内 容	出席者
9月2日(水) 11:30～14:00 事務局会議室	地域創生委員会 第6回正副委員長会議	・県外視察について ・フィールドワークプランの選定について	7名
9月7日(月) 14:15～14:45 富山県民会館	文化スポーツ委員会 第5回正副委員長会議	・県外視察について ・今後の活動について	7名
9月7日(月) 15:00～17:00 富山県民会館 富山市佐藤記念美術館	第11回文化スポーツ 委員会	・勉強会「富山ゆかりの芸術について」 ・富山市佐藤記念美術館企画展 「富山ゆかりの美術」鑑賞	24名
9月14日(月) 16:30～20:00 ホテルグランテラス 富山	企業経営委員会 第1回同友会経営道場	・発表者 (株)牧田組 取締役社長 牧田 和樹 氏	51名
9月16日(水) 17:00～18:30 インテックビル会議室	第12回文化スポーツ 委員会	「ラフカディオ・ハーン」勉強会 ・講師：高志の国文学館 主任学芸員 綿引 香織 氏	26名
9月29日(火) 17:00～20:10 富山電気ビルディング	第4回企画総務委員会 (拡大委員会)	SDGs 講演会 ・講師：etincelle（エタンセル） 代表 西野 美冬 氏 ・演題：「SDGsの実践が会社の未来 を変える！～ポイントは3つ の“ I（アイ） ”～」	約110名
10月2日(金) 11:20～19:30 各コース巡回 富山第一ホテル	第5回地域創生委員会	フィールドワーク（委員が考えた7つ の観光コースを参加者が選択して巡回）	34名
10月10日(土) 9:30～12:00 富山市民俗民芸村	第13回文化スポーツ 委員会	・越中瀬戸焼・小杉焼・丸山焼・簗牛 人に関する勉強会 講師：富山市民俗民芸村 陶芸館学芸員 高木 好美 氏 講師：同 簗牛人記念美術館 館長 木村 昌弘 氏 ・富山市民俗民芸村陶芸館、簗牛人記 念美術館鑑賞	11名

開催日時・場所	委員会名	内 容	出席者
10月15日(木) 11:00～13:00 事務局会議室	教育問題委員会 第9回正副委員長会議	・今後の活動について ・「海外教育事情視察」参加教員アンケートの実施について ・教育に関する提言案について	8名
10月21日(水) 書面開催	第14回文化スポーツ委員会	・小泉八雲ゆかりの地について(富山版) ・富山大学附属図書館「ヘルン文庫」 ・富山市馬場記念公園	—
10月26日(月) 14:00～15:30 インテックビル 4階ギャラリー	第5回企画総務委員会	・60周年記念事業の予算案 ・60周年記念式典の来賓・招待者 ・SDGs 推進を考慮した委員会再編案	13名
10月28日(水) 13:00～15:00 事務局会議室	人財創出委員会 第9回正副委員長会議	・提言内容について ・各事業の進捗共有 他	10名

○課外授業講師派遣

開催日時	学 校	対 象	講師・演題
9月9日(水)	射水市立射北中学校	2学年118名	牧田 和樹 氏 「よりよく生きる」
9月26日(土)	富山県立魚津高等学校	1学年160名	山野 昌道 氏 「自分の夢の見つけ方 ～人生を幸せにする3つのコツ～」
10月14日(水)	富山県立小杉高等学校	1学年158名	遊道 義則 氏 「目標と目的～一度の人生を幸せに 生きるために～」
10月20日(火)	富山県立高岡南高等学校	1学年41名	小川 万里絵 氏 「金融経済における日本銀行の役割」

○その他の会合

開催日	内 容	場 所	出席者
9月6日(日)	未来共創拠点施設「Sketch Lab」 オープニングセレモニー	Sketch Lab (スケッチラボ) (CiCビル3階)	麦野代表幹事
9月12日(土)	第79回あけぼの会ゴルフ・コンペ	呉羽カントリー クラブ	59名
10月2日(金)	令和2年度富山県緑花推進県民会議	富山県農協会館	麦野代表幹事
10月14日(水)	富山県ボランティアセンター運営委員会 令和2年度第1回運営委員会	富山県総合福祉 会館 (サンシップとやま)	有藤事務局長
10月18日(日)	同友会の日 カターレ富山戦	富山県総合運動 公園陸上競技場	約200名
10月27日(火)	第2回富山県ひとり親家庭等自立促進計画 検討委員会	富山県民会館	伊東教育問題 委員長
10月28日(水)	富山県中堅教諭等資質向上研修 「社会体験研修」(講師)	富山県総合教育 センター	牧田副代表幹事

会 員 の 入 退 会

(9月幹事会)

1. 最近思うこと

(社業についての抱負や最近の政治・経済・社会情勢等についての考えなど)

2. 生活信条(座右の銘等)

3. 趣味

交 代



あり た よし ひろ
在 田 吉 宏

(株)アリタ

取締役社長

(前：在田吉保氏)



くろ さき さとし
黒 崎 聡

三協立山(株)

取締役副社長

(前：川村人志氏)

1. 社会課題を解決していけるような事業づくり、また、社員がいきいきと働ける会社づくりを目指しております。
2. 前へ。
3. 茶道

1. コロナウイルス感染で始まった今年は、春も夏も、そして秋冬さえも含め、多くの行事が中止に追い込まれました。しかし、そろそろ復活させていきたいところです。
2. どこかで聞いた言葉です。「落とし所は地味で単純なものとなる場合が多い」
3. 読書、街歩き



かめ い しげ のり
亀 井 秀 倫

日本アイ・ビー・エム(株)

広域事業部

北信越支店長

(前：志水郁也氏)



すぎ き とも かず
杉 木 智 一

立山製紙(株)

代表取締役

(前：増田基由氏)

1. 在宅勤務の在り方に関して日々苦心しております。モチベーションの維持や部下やお取引様とのコミュニケーションの仕方など、大きな変化への対応を迫られているこの頃です。
2. 努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る。
3. 料理

1. 新型コロナウイルス感染拡大で、社会生活が激変しました。思うような経済活動が出来ない状況が続きましたが、今後は、正確な情報を得て、柔軟に対応していきたい。
2. 設備管理部門の勤務が長かったので、三現主義を実践している。
3. 週に2回のバドミントン



やま だ ひと し
山 田 仁 史
日本海建興(株)
専務取締役営業本部長
(前：灰谷久登氏)

1. 若い人の多い会社です。みんなが意見を出し合い、議論して、正しいことを正しくやりぬく力を備えた組織を目指しています。
2. 実心、実言、実行
3. 山歩き、電車に乗ること

哀 悼



当会会員の関野光俊氏（(株)セキノ興産 取締役社長）は令和2年10月29日ご逝去されました。享年77歳。

心からご冥福をお祈り申し上げます。

所属企業変更

碓 井 一 平 氏

(株)碓井プランニング 代表取締役

→ Labore(株) 代表取締役

笹 原 正 徳 氏

(株)和楽美容室 専務取締役

→ (学)和楽学園 学園本部長

退 会

長谷川 光 一 東洋ゼンマイ(株)代表取締役

本 田 拓 也 本田精密工業(株)代表取締役

森 本 俊 明 クオレ・ホーム(株)
代表取締役

林 広 森 富藩国際事業協同組合
専務理事

(令和2年9月24日現在 **会員数424名**)

慶事のお知らせ

おめでとうございます

令和2年秋の褒章および富山県功労表彰において、当会会員が晴れの栄誉を受けられました。心からお喜び申し上げますとともに、今後ますますのご健勝とご活躍を祈念いたします。

黄綬褒章



川合 声一 氏

日の出屋製菓産業(株)
取締役会長兼社長

県功労表彰



四十物 直之 氏

(株)四十物昆布
取締役社長 当会幹事



鍋嶋 太郎 氏

(有)ドリームファーム
代表取締役

今後の予定

開催日	対 象	行 事	場 所
12月8日(火) 18:00~20:00	全会員	年末懇親会	A N A クラウンプラザホテル 富山
1月4日(月) 16:00~17:00	幹事以上	令和3年経済団体新春互礼会	A N A クラウンプラザホテル 富山
1月14日(木) 11:30~13:00	幹事以上	新年幹事会・富山県知事との昼食会	富山電気ビルディング
1月29日(金) 17:00~18:30	全会員	1月会員定例会 講師：インテグラル(株) 代表取締役パートナー 佐山 展生 氏	A N A クラウンプラザホテル 富山
3月3日(水)	全会員	3月幹事会・会員定例会 講師：(株)ラクスル 代表取締役社長 C E O 松本 恭攝 氏	富山第一ホテル
4月8日(木) ～9日(金)	全会員	第34回全国経済同友会セミナー	熊本市内 (熊本経済同友会主管)
4月14日(水)	幹事以上	幹事会	富山電気ビルディング
4月27日(火)	全会員	令和3年度定時総会・60周年記念式典・ 懇親会	A N A クラウンプラザホテル 富山

※新型コロナウイルス感染状況により、変更となる場合がございますのでご了承願います。

〔表紙写真〕

9月会員定例会

新型コロナウイルス感染拡大で増えている「オンライン講演会」。当会の定例会では初の試みとして、講師は東京からリモートで出演し、会員参加者は会場スクリーンで聴講する形式で開催した。

講師による一方的な配信だけではなく、コンサルタントが来場しての説明や会場と双方向でのやりとりを行うなど、オンラインとリアルが融合した講演会となり、約100名の会員は熱心に耳を傾けた。

発 行 所

富山経済同友会

富山市牛島新町5番5号 インテックビル4階

電 話 (076) 444-0660

F A X (076) 444-0661

e-mail: doyukai@po.hitwave.or.jp

http://www.doyukai.org/

わが青春の1枚



1975年夏 志賀高原〈少林寺拳法部 夏合宿〉(写真中央が筆者)



1976年春 尾瀬〈ユースホステル同好会 トレッキング〉



燃えよ青春！

板谷経営工房有限公司 取締役社長

板谷 聡

高校三年生の冬の深夜、親に見つからないように、こっそりと11PMを見ていた。そこで紹介された1本の映画に度肝を抜かれた。

ブルース・リーの「燃えよドラゴン」である。強烈なアクションと雄たけび、極限まで絞り込まれた肉体。この映画は何なんだ、こいつは一体何者なんだ！強烈な衝撃を受けた。

春になって上京し、燃えよドラゴンが上映されているのを見つけると、直ぐに映画館に入った。当時は、入れ替えがなかったので、朝から4回連続で観たりした。延べで30回くらい観たのではないだろうか。お陰で、各シーンのディテールまで覚えてしまい、後日テレビで放送されたときに、どこがカットされているか直ぐに分かった。

当然、他のブルース・リーの映画もすべて複数回観た。映画館を出ると、自分もすごく強くなった気分になり、肩で風を切って帰宅したものである。

それが高じて、大学の部活も、カンフーに一番近いという理由で少林寺拳法部に入部した。

大学の運動系の部活、特に格闘技系というと怖くて厳しいイメージがあるが、当大学の部活は全くそのようなことはなく、先輩をいじれるくらい仲が良かった。夏は志賀高原、春は四国の少林寺拳法本部で合宿と、ちょっときつかったが楽しい部活であった。本部での昇段試験にも何とか合格し、段位を得ることもできた。

しかし、まずいことに気が付いた。高校のときは理数科で、40人クラスで3年間女子2人、大学は理工学部機械科で、80人全員男性。色気が全くない！このままでは、自分の青春は黒バラではないか？そこで、クラスの同級生に誘われて、ユースホステル同好会にも入会した。夏は山歩き、春は旅行を楽しむ同好会である。そこは、教育学部の女子が大勢いて、やっとわが青春の一枚に華を添えることができた。燃えよ青春である。